

船舶事故等調査報告書

平成24年3月29日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011函第17号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年9月13日 20時43分ごろ	
発生場所	北海道根室市落石岬南方沖 落石岬灯台から真方位185° 16海里付近 (概位 北緯42° 54.0′ 東経145° 29.0′)	
事故等調査の経過	平成23年5月27日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 ^{ジョーコー} JŌCHŌH（パナマ共和国籍）、4,458トン 9126261（IMO番号）、Belfry Ocean Inc B 漁船 第十五 ^{たしせい} 泰勢丸、179トン 125611、有限会社掘漁業部	
乗組員等に関する情報	A 船長A、免状不詳 B 船長B、五級海技士（航海）（履歴限定）	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷外板にペンキ剥離を伴う擦過傷 B 左舷船首ブルワークに長さ約1mの凹損	
事故等の経過	A船は北東進中、B船は、船長Bほか12人が乗り組み、船長Bほか1名が船橋当直に就いて魚群探索のために西進中、平成22年9月13日20時43分ごろ、落石岬南方沖において、B船の左舷船首がA船の右舷外板と衝突した。 船長Bは、レーダーによりA船の映像を探知していたが、その後、魚群探索に気を取られ、至近距離となるまでA船に接近していることに気付かなかった。 船長Bは、A船に気付いた後、直ちに右舵一杯をとり、全速力後進をかけたものの、避けきれずに衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、視界 良好 海象：海上 平穏	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	A 不明、B あり A 不明、B なし A 不明、B なし B船は、落石岬南方沖を魚群探索のために西進中、船長Bが、魚群探索に気を取られてA船に対する適切な見張りを行わなかったことから、A船へ至近距離に接近するまで気付かずに航行を続け、A船と衝突したものと考えられる。 A船は、落石岬南方沖を北東進中、西進中のB船と衝突したものと考えられるが、A船側からの情報を得られなかったため、衝突に至る状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、夜間、落石岬南方沖において、A船が北東進中、B船が魚群	

	探索のために西進中、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。
--	-------------------------------------